

令和5年陸別町議会9月定例会会議録（第2号）

招集の場所	陸別町役場議場					
開閉会日時 及び宣告	開会	令和5年9月6日 午前10時00分			議長	久保広幸
	延会	令和5年9月6日 午後1時50分			議長	久保広幸
応（不応）招議員 及び出席並びに 欠席議員 出席 7人 欠席 0人 凡例 ○ 出席を示す ▲ 欠席を示す × 不応招を示す	議席 番号	氏名	出席等 の別	議席 番号	氏名	出席等 の別
	1	濱田正志	○			
	2	三輪隼平	○			
	3	渡辺三義	○			
	4	工藤哲男	○			
	5	中村佳代子	○			
	6	谷 郁 司	○			
	8	久保広幸	○			
会議録署名議員	渡辺三義		工藤哲男			
職務のため議場に 出席した者の職氏名	事務局長 庄野勝政			主任主査 竹島美登里		
法第121条の規定 により出席した者の 職氏名	町 長	本田学		教 育 長	有田勝彦	
	監 査 委 員	飯尾清		農 業 委 員 会 長	佐藤直人	
町長の委任を受けて 出席した者の職氏名	副 町 長	今村保広		会 計 管 理 者	丹野景広	
	総 務 課 長	丹野秀幸		町 民 課 長	遠藤克博	
	産 業 振 興 課 長	菅原靖志		建 設 課 長	清水光明	
	保健福祉センター次長	空井猛壽		国保関寛齋診療所事務長	(空井猛壽)	
	総 務 課 参 事	瀧澤 徹		総 務 課 主 幹	請川義浩	
教育長の委任を受けて 出席した者の職氏名	教 委 次 長	副島俊樹				
農業委員会会長の委任を 受けて出席した者の職氏名						
選挙管理委員会委員長の 委任を受けて出席した 者の職氏名						
議 事 日 程	別紙のとおり					
会 議 に 付 した 事 件	別紙のとおり					
会 議 の 経 過	別紙のとおり					

◎議事日程

日程	議案番号	件名
1		会議録署名議員の指名
2	議案第66号	令和4年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について
3	議案第67号	令和4年度陸別町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
4	議案第68号	令和4年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について
5	議案第69号	令和4年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
6	議案第70号	令和4年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
6	議案第71号	令和年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
8	議案第72号	令和4年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

◎会議に付した事件

議事日程のとおり

開議 午前 10 時 00 分

○事務局長（庄野勝政君） おはようございます。

お座りください。

○議長（久保広幸君） 瀧口農業委員会事務局長より欠席する旨報告がありました。

◎開議宣告

○議長（久保広幸君） これより、本日の会議を開きます。

◎日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（久保広幸君） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、3 番渡辺議員、4 番工藤議員を指名します。

◎日程第 2 議案第 66 号令和 4 年度陸別町一般会計歳入歳出決算
認定について

◎日程第 3 議案第 67 号令和 4 年度陸別町国民健康保険事業勘定
特別会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 4 議案第 68 号令和 4 年度陸別町国民健康保険直営診療
施設勘定特別会計決算認定について

◎日程第 5 議案第 69 号令和 4 年度陸別町簡易水道事業特別会計
歳入歳出決算認定について

◎日程第 6 議案第 70 号令和 4 年度陸別町公共下水道事業特別会
計歳入歳出決算認定について

◎日程第 7 議案第 71 号令和 4 年度陸別町介護保険事業勘定特別
会計歳入歳出決算認定について

◎日程第 8 議案第 72 号令和 4 年度陸別町後期高齢者医療特別会
計歳入歳出決算認定について

○議長（久保広幸君） 日程第 2 議案第 66 号令和 4 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定についてから日程第 8 議案第 72 号令和 4 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてまで、7 件を一括議題とします。

提案理由の説明を求めます。

本田町長。

○町長（本田 学君）〔登壇〕 議案第 66 号令和 4 年度陸別町一般会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第 67 号令和 4 年度陸別町国民健康保険事業勘定特別

会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第68号令和4年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第69号令和4年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第70号令和4年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第71号令和4年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について、続きまして、議案第72号令和4年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について、以上、議案第66号から議案第72号まで7件を一括して、別紙、監査委員の意見を付しまして、議会の承認を求めるものであります。

内容につきましては、副町長に説明させたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（久保広幸君） 今村副町長。

○副町長（今村保広君） それでは、議案第66号から議案第72号までの令和4年度の各会計の決算について、一括して御説明させていただきます。

まず初めに、令和4年度の全会計の決算状況について説明したいと思いますので、議案説明書、資料ナンバー9を御覧いただきたいと思います。

この表につきましては、令和4年度の決算書の各会計の実質収支に関する調書と合うものでございまして、円単位で整理したものでございます。

7会計の合計につきましては、予算額70億3,937万3,421円に対し、歳入額69億5,308万6,110円、歳出額68億344万5,507円で、差し引き1億4,964万603円でございます。翌年度に繰り越すべき財源は、一般会計のみで、繰越明許費繰越額が209万5,000円、歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支額は、7会計で1億4,754万5,603円であります。

この中から、一般会計において、地方自治法第233条の2及び地方財政法第7条の規定に基づき、実質収支額の2分の1を下らない金額、この場合5,000万円を財政調整基金に積み立てすることとし、令和5年度に繰り越す額の合計は、7会計で9,754万5,603円とします。

歳出の決算額の執行率につきましては96.65%であります。

なお、複数の会計にまたがる議案説明資料につきましては、基金別増減の状況が、資料ナンバー10、起債残高推移が、資料ナンバー11で、令和3年度と令和4年度の人件費比較表につきましては、資料ナンバー12の1及び12の2で、それぞれつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

次に、各科目におけます主要な事業についてであります。例年と同様、各会計の事項別明細書の歳出の左側に枠で囲いまして掲載しておりますので、歳出のたび随時確認をしていただきたいと思います。

それでは、これより議案第66号の令和4年度陸別町一般会計歳入歳出決算について、説明に入らせていただきます。

議案説明書、資料ナンバー13を御覧ください。

こちらの令和4年度繰越事業一覧は、令和3年度から令和4年度への繰越し分でございます。繰越予算額は8,299万4,421円で、実績額が6,955万629円でございます。差引き1,344万3,792円となっております。

次に、資料ナンバー14を御覧ください。

こちらの令和5年度繰越事業一覧は、令和4年度から令和5年度への繰越し分でございます。繰越予算額3,985万4,000円でございます。

それでは、これより決算書の説明をさせていただきたいと思っておりますので、初めに、説明資料から説明をいたしますので、決算書138ページを御覧ください。

第1表、令和4年度歳入歳出決算の総括でございます。

予算額56億7,074万8,421円、歳入の決算額55億9,663万9,156円、歳出の決算額55億169万5,609円、差引残額9,494万3,547円、歳出の執行率は97.0%でございます。

なお、令和3年度からの繰越額及び執行額と令和5年度への繰越額を、予算額及び歳入歳出決算額から除いた令和4年度の単年度分につきましては、予算額55億4,790万に対し、歳出総額53億9,229万980円となりまして、歳出の執行率は97.2%となります。

それでは、139ページを御覧いただきたいと思っております。

第2表、第3表は、各科目ごとの令和3年度と令和4年度の比較表となっております。

第2表、令和4年度の歳入の合計は、調定額55億9,803万1,117円に対し、収入済額55億9,663万9,156円で、収入済額は前年より1億1,451万7,666円の減となっております。

このうち1款の町税は、収入済額が3億4,274万9,018円で、収入に占める割合は6.1%で、不納欠損額15万6,277円、収入未済額123万5,685円であります。

10款の地方交付税でございますが、収入済額が24億6,713万7,000円で、前年より570万7,000円の増でございます。収入総額に占める割合が44.1%でございます。

歳入には、町税や使用料、手数料などの自主財源と国や道の支出金などの異存財源がございますが、当町の自主財源は16億2,043万805円で、前年度比1億2,969万1,041円の増で、歳入に占める割合は29%となっております。

続きまして、140ページ、第3表を御覧ください。

令和4年度の歳出の合計では、支出済額が55億169万5,609円で、前年度より1億569万5,819円の減で、翌年度繰越額は3,985万4,000円、不用額1億2,919万8,812円、歳出の執行割合は97.0%でございます。

第4表、続きまして、税の徴収実績表は、左側が現年度分で、右側が滞納繰越分でございます。現年度分の合計、調定額3億4,149万9,623円、収入済額3億4,085万8,689円、不納欠損額1万4,700円、収入未済額62万6,234円、収納率は99.8%でございます。

滞納繰越分の調定額264万1,356円、収入済額189万329円、不納欠損額14万1,577円、収入未済額60万9,450円、収納率71.6%でございます。

142ページ、第5表、歳出の性質分析表につきましては、款ごとに人件費から繰出金までを分類した決算統計上の数字を使用した表であります。後ほど御覧いただきたいと思っております。

なお、人件費、扶助費、交際費が、自治体の義務的経費と言われるものであります。その合計が15億5,991万円で、28.3%となっております。

次のページ、第6表、最近5か年間の決算額調べも、参考として後ほど御覧いただきたいと思っております。

144ページの第7表、引下げ分の地方消費税交付金、社会保障財源化分が充てられている社会保障4経費、その他社会保障施策に要する経費であります。社会福祉、社会保険、保健衛生の事業の令和4年度の決算額の合計につきましては、11億5,203万5,000円でございます。その財源としまして、国・道支出金が2億7,756万4,000円、地方債が2億6,160万円、その他が1億8,185万8,000円、一般財源の一部としまして、この地方消費税交付金が3,368万5,000円が充当されております。

以上で、説明資料の説明を終わります。続きまして、事項別明細書の9ページを御覧いただきたいと思っております。

1款町税から始めます。資料ナンバー15の1から、ナンバー17も併せてご覧いただきたいと思っております。調定収入額調書、十勝市町村税滞納整理機構の引継収納状況、税に関する不納欠損、こちらが資料でございますが、後ほど御覧いただきたいと思っております。

予算書に戻りまして、1款町税、収入済総額3億4,274万9,018円、現年、滞納合わせての収納率は99.6%で、これを令和5年3月末の人口2,189人で割りますと、一人当たりの収入額が15万6,578円で、これは前年度より7,471円の増となっております。滞納繰越分収入済額17万535円で、不能欠損額1件、3万7,377円、収入未済額15件、31万250円でございます。

失礼しました。1項町民税の項目、ちょっと説明抜けておりましたのでさせていただきます。

1項町民税1目個人、収入済額1億1,824万2,759円のうち、現年課税分が1億1,807万2,224円で、この現年課税分の収入未済額が10件で、51万8,934円、滞納繰越分の収入済額が17万535円で、不能欠損額が1件、3万7,377

円、収入未済額が15件の31万250円でございます。

2目法人の収入済額は、現年課税分のみで1,559万5,300円。

2項1目固定資産税の収入済額は1億7,210万4,288円のうち、現年課税分は1億7,039万8,000円、不納欠損額が1件で1万4,700円、収入未済額が10件、10万7,300円。続きまして、滞納繰越分でございますが、収入済額170万6,288円、不納欠損額が7件、9万8,200円、収入未済額が25件、28万5,100円であります。

2目国有資産等所在市町村交付金の収入済額は704万1,900円。

3項軽自動車税1目環境性能割55万4,300円。

2目種目割、これは1節現年課税分が収入済額713万4,600円。2節滞納分、収入済額4,800円、収入未済額1件、8,100円です。

3目軽自動車税1節滞納繰越分、収入済額8,706円、不納欠損額が1件、6,000円、収入未済額1件、6,000円。

4項1目町たばこ税、収入済額が2,206万2,365円。

2款地方譲与税1項1目自動車重量譲与税は5,359万6,000円。

2項1目地方揮発油譲与税は1,790万6,000円。

3項1目地方道路譲与税は、科目存置。

4項1目森林環境譲与税は3,159万8,000円。

3款1項1目利子割交付金11万8,000円。

4款1項1目配当割交付金86万9,000円。

5款1項1目株式等譲渡所得割交付金70万1,000円。

6款1項1目地方消費税交付金6,283万6,000円、これ、先ほど説明させていただきましたが、このうち社会保障財源化分が3,368万5,000円、地方消費税交付金分が2,915万1,000円となっております。

7款1項1目環境性能割交付金652万9,000円。

8款1項1目法人事業税交付金409万4,000円。

9款1項1目地方特例交付金113万2,000円。

2項1目新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金23万7,000円。

10款1項1目地方交付税24億6,713万7,000円で、こちら、前年度より570万7,000円の増となっております。普通地方交付税が22億1,263万5,000円、特別交付税2億5,450万2,000円となります。3月末の町民2,189人で割りますと、1人当たり112万7,061円となり、前年度より4万337円の増となります。

11款1項1目交通安全対策特別交付金は、科目存置。

12款分担金及び負担金1項分担金1目農林水産業費分担金1,981万5,673円

は、農業競争力基盤整備事業に係る農業者の分担金で、法人8件、個人12件分となります。

2項負担金1目民生費負担金48万3,600円は、町外の養護老人ホーム入所者1名分となります。

13款使用料及び手数料1項使用料1目総務使用料3,691万3,889円で、1節行政財産使用料634万2,289円は、町有地、庁舎、天文台、保健センターなどの公共の土地・建物の使用料でございます。2節福祉館等使用料、こちら2件分で5万7,800円。3節タウンホール使用料、1件分で1万1,500円。4節ふるさと交流センター使用料1,399万3,300円ですが、3,819人が宿泊しており、前年度より259人の増です。

議案説明書、資料ナンバー18に、オーロラハウスの利用状況をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

5節銀河の森宇宙地球科学館等使用料1,650万9,000円、天文台及びコテージ入館料と使用料となります。天文台が4,774人で、前年より980人の増、コテージが745棟で、前年より29棟の減、コテージ稼働率29.2%となっております。

それぞれ資料、ナンバー19、ナンバー20を御覧いただきたいと思っております。

2目民生使用料1節老人福祉使用料163万9,300円は、福寿荘の使用料でございます。2節児童福祉使用料332万9,760円は、陸別保育所への広域入所3名分の保育料でございます。3節福祉住宅使用料21万2,100円は、からまつハウスの使用料でございます。

3目衛生使用料1節保健衛生使用料185万3,310円は、公衆浴場使用料で、利用者8,041人、前年度より186人の減。2節水道使用料494万4,522円は、小利別専用水道使用料で、給水人口は55人となっております。

4目農林水産使用料1節農林水産使用料10万7,300円は、加工センター使用料でございます。資料ナンバー21を後ほど御覧いただきたいと思っております。2節営農用水使用料501万714円、これは上陸別地区の使用料254万6,439円、給水人口70人、それとトラリ地区使用料246万4,275円、給水人口50人でございます。

5目商工使用料1節公園使用料2万5,800円は、イベント広場等使用料でございます。

6目土木使用料1節道路橋りょう使用料、道路占用料が24件、247万5,285円。2節河川使用料は河川占有が24件、6万9,045円となります。3節住宅使用料5,897万900円、こちらは公営住宅等使用料でございます。4節集会所使用料、科目存置でございます。

7目教育使用料1節社会教育使用料3万9,711円は、こちら公民館の使用料でございます。2節資料館使用料、関資料館入館料8万6,100円、287名分でございます。3節学童保育所使用料162万1,250円、児童の最大数は35名でございます。

た。

2項手数料1目1節総務手数料152万6,350円は、戸籍や住民表等の各種の証明書発行手数料でございます。

2目1節衛生手数料758万7,710円は、指定ごみ袋等の販売、畜犬登録手数料でございます。2節水道手数料は、科目存置。

3目の農林水産手数料、営農用水手数料8,000円は新設1件でございます。

14款国庫支出金1項国庫負担金1目民生費負担金1節社会福祉費負担金9,712万9,082円は、障害者自立支援給付費等に係る負担金、介護保険の低所得者保険料軽減負担金、国保の保険基盤安定負担金などがございます。2節児童福祉費負担金3,970万6,110円は、こちら、児童手当負担金、障害児介護給付費負担金、子どものための教育・保育給付費負担金などがございます。

2目衛生費負担金772万1,088円は、新型コロナウイルスワクチン接種負担金と療育医療負担金でございます。

2項国庫補助金1目総務費補助金1億3,306万4,922円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、緊急支援給付金事業費補助金等からなり、資料でございますが、ナンバー22の1及びナンバー22の2を後ほど御覧いただきたいと思っております。

なお、社会保障番号制度補助金の令和3年度からの繰越分272万8,000円が含まれております。

2目民生費補助金1節社会福祉費補助金1,081万333円は、生活困窮者就労準備支援事業等補助金などとなり、令和3年度からの住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金に係る繰越分が718万7,333円含まれております。2節児童福祉費補助金536万5,000円は、子ども・子育て支援交付金、子育て世帯生活支援特別給付金などとなります。

3目衛生費補助金1節保健衛生費補助金1,845万2,000円は、コロナワクチン接種事業費補助金ほかとなります。2節水道費補助金337万5,000円は、小利別地区専用水道の団体営整備事業補助金でございます。

4目農林水産業費補助金107万8,000円は、トラリ地区の団体営の整備事業分でございます。

5目土木費補助金1節道路橋りょう費補助金4,920万1,000円は、道路メンテナンス補助金で通学橋及び下陸別橋、その他の補修などとなります。2節住宅費補助金3,235万円は、社会資本整備総合交付金として新町団地の新築、除却、屋根塗装などとなります。

6目教育費補助金1節教育総務費補助金1,622万円。こちら学校施設環境改善交付金ということで1,247万円。こちら教員住宅1件の新設となります。それと、へき地児童生徒援助費補助金375万円。この二つになりますが、へき地のほうはスクールバ

スの更新費用となります。2節小学校費補助金9万8,000円は、学校保健特別対策事業補助金です。3節中学校補助金13万1,000円も同じく学校保健特別対策事業補助金となります。

3項委託金1目総務費委託金1節総務管理費委託金164万4,113円は、拠出年金事務の委託金ほかでございます。2節選挙費委託金440万4,090円は、参議院議員選挙事務委託金でございます。

2目民生費委託金5,769円は、児童扶養手当、特別児童扶養手当の事務委託金でございます。

15款道支出金1項道負担金1目民生費負担金1節社会福祉費負担金6,639万7,863円は、民生委員活動負担金、あと、先ほど国庫負担金でも説明いたしました障害者自立支援給付費などの負担金、国保、後期の保険基盤安定負担金などで、おおむね対象経費の4分の1の負担率となっております。2節児童福祉費負担金1,558万5,266円も、先ほど国庫負担金で説明しました内容とほぼ同様で、児童手当負担金などございます。

2目衛生費負担金は、収入がございません。

2項道補助金1目総務費補助金24万5,000円は、防災備蓄整備に係る地域づくり総合交付金ほかとなります。

2目民生費補助金1節社会福祉費補助金790万429円は、地域生活支援事業補助金、重度障害者医療費補助金などとなります。2節児童福祉費補助金452万7,000円。子ども・子育て支援交付金などとなります。

3目衛生費補助金19万8,498円は、健康増進事業補助金ほか、例年と同様でございます。

4目農林水産業費補助金1節農業費補助金6,729万5,919円は、こちらは中山間地域の直接支払事業、農業委員会活動促進事業、農業次世代人材投資事業などとなります。また、令和3年度からの自己繰越分、畜産・酪農収益力強化整備事業、クラスター事業でございますが、その1,700万円を含んでおります。失礼しました。自己繰越分を含んでおります。2節林業費補助金3,627万7,613円は、森林環境保全整備事業、小規模治山事業、林道東トマム線高台改良事業などとなります。

5目教育費補助金24万1,000円は、地域学校共同活動事業補助金となります。

6目商工費補助金387万7,937円は、プレミアム付き商品券の発行事業分でございます。

3項委託金1目総務費委託金1節総務管理費委託金3万1,700円は、北海道権限移譲事務の交付金でございます。2節徴税费委託金346万3,445円は、道民税の徴収委託金でございます。3節戸籍住民基本台帳費委託金1万700円は、更正調査の事務委託金でございます。4節統計調査費委託金は3万6,000円でございます。5節選挙費委託金213万717円は、知事・道議会議員選挙委託金でございます。

2目衛生費委託金1節保健衛生費委託金2万700円は、公害防止事務委託金ほかとなります。2節清掃費委託金1万6,508円は、建設リサイクル法事務取扱委託金でございます。

3目農林水産業費委託金1節農業費委託金118万2,850円は、家畜伝染病予防事務委託金、あと、監督等補助委託金など入っております。繰越分として、第2上陸別地区畑地帯総合整備の監督補助委託金19万1,400円を含んでおります。2節林業費委託金15万4,700円は、有害鳥獣捕獲許可事務委託金でございます。

4目商工費委託金1万6,980円は、商工会法関係許認可事務委託金でございます。

5目土木費委託金136万6,019円は、陸別川の樋管管理、道道除排雪作業委託金ほかとなります。

16款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入1節土地建物貸付収入3,061万5,777円は、普通財産の土地建物の貸付収入で、主に産業振興住宅ルナコート、貸付住宅、移住産業研修センターなどの貸付収入がございます。2節通信設備貸付収入1,189万6,500円は、光ファイバー網の貸付収入でございます。

2目利子及び配当金10万1,000円は、各種基金利子等でございます。

2項財産売払収入1目不動産売払収入はございません。

2目物品売払収入1節生産物売払収入520万円でございますが、町有林の素材売払収入でございます。2節不用物品売払収入66万6,000円は、廃車となった旧公用車4台分の売り払いとなります。

17款1項寄附金1目一般寄附金は、科目存置。

2目指定寄附金1,185万8,000円は、指定寄附金11件、381万円、ふるさと納税分551件、804万8,000円でございます。1節総務費寄附金は、ふるさと整備資金、ふるさと銀河線跡地活用等振興資金、町有林整備資金、合計で992万4,000円でございます。2節農林水産業費寄附金は、いきいき産業振興資金で53万7,000円でございます。3節教育費寄附金は、教育振興資金、給食センター管理運営資金、スポーツ振興資金の三つで、合計81万6,000円でございます。4節民生費寄附金は、地域福祉資金で58万1,000円でございます。

18款繰入金1項特別会計繰入金1目介護保険事業勘定特別会計繰入金は56万3,190円で、こちらは介護保険特別会計で受けました保険者機能強化推進交付金41万1,000円と、低所得者保険料軽減負担分などが入っております。

2項基金繰入金1目財政調整基金繰入金は、2億円を取り崩し、財源不足に対応しております。

2目減債基金繰入金は1億5,000万円を地方債の償還に充当しております。

3目ふるさと整備基金繰入金5,300万円。

4目いきいき産業振興基金繰入金6,448万円。

5目ふるさと銀河線跡地活用等振興基金繰入金670万円。

6目町有林整備基金繰入金1,000万円。

7目地域福祉基金繰入金1億3,330万円。

8目公共施設等維持管理基金繰入金1億3,110万円。

9目学校給食センター管理運営基金繰入金2,810万円。

10目スポーツ振興基金繰入金18万9,629円。

11目森林環境譲与税基金繰入金4,576万2,000円で、繰入金総額8億2,263万1,629円で、それぞれ該当する事業に充当しております。

19款1項1目繰越金は、前年度繰越金4,376万5,394円で、こちらには令和3年度からの繰越し分209万1,421円を含んでおります。

20款諸収入1項延滞金加算金及び過料1目延滞金4万7,584円。こちら、町民税の延滞金が4件、5,184円、固定資産税が8件、4万2,400円であります。

2目加算金は、科目存置。

2項1目町預金利子は5,888円。

3項貸付金元利収入は、家畜導入貸付金収入4,456万1,000円。こちらは、約定償還分が牛が226頭で2,915万円、繰上償還分が60頭で1,541万1,000円。資料につきましては、ナンバー24を後ほど御覧いただきたいと思います。

2目貸付金元利収入1億2,888円は、中小企業融資に伴う信用保証協会貸付金1億円のほか、勤労者融資制度貸付金利子などが含まれております。

3目奨学資金貸付金収入532万2,000円は、高校生1名、大学生7名、重複3人からの償還金であります。

4項雑入1目滞納処分費は、科目存置。

2目弁償金2万1,740円は、コピー機使用に係る弁償金。

3目雑入1節介護予防支援報酬92万520円は、介護予防計画作成に係る報酬142件分でございます。2節居宅介護支援報酬547万260円は、居宅介護サービス計画作成に係る報酬、こちら409件分。3節高齢者福祉施設負担金301万3,626円は、福寿荘入居者の食事負担金でございます。4節学校給食費等1,176万9,365円は、小中学生、保育所職員等の負担金でございます。5節電話使用料1万3,680円は、庁舎、福祉館等の電話使用料。6節電気等使用料10万3,133円は、コテージ村等の電気等使用料でございます。7節雑入2,765万8,711円は、こちら、ほかの区分に属さない収入で、金額の大きなものとして、宝くじの交付金、健康診査の個人負担金、支障物件の補償費、交流センター等の燃料費の使用分、前年度介護給付費負担金の精算に伴う返還金、あと立木売却、建物災害共済金なども含まれております。

4目過年度収入は、いずれも国・道の負担金、または補助金等の事業精算に伴うもので、1節障害者福祉費等負担金462万3,533円は障がい者医療費道負担金、同じく国庫負担金の追加交付分となります。2節農業費補助金過年度収入13万円は、次世代農業促進基盤整備事業の追加交付金となります。3節過払返還過年度収入50円は、報

酬の過払い分の返還金となります。

21款1項町債は、総額6億9,772万3,000円となり、内訳でございますが、起債の種別でございますが、緊急自然災害防止債が3,340万円、緊急防災・減災事業620万円、防災・減災、国土強靱化事業が2,190万円、公営住宅建設事業5,410万円、過疎債が5億5,090万円、臨時財政対策債2,272万3,000円でございます。

今度、目ごとに。

1目総務債6,320万円、こちら、過疎地域自立促進特別対策事業ほか1事業で、資料ナンバー25を後ほど御覧いただきたいと思っております。

2目衛生債270万円、こちら、小利別地区専用水道の整備でございます。

3目農林水産業債1節農業債1億3,410万円は、第二上陸別畑地帯総合整備事業ほか8事業です。2節林業債2,680万円は、陸別地区小規模治山事業ほか6事業でございます。

4目土木債1節道路橋りょう債9,440万円は、町道トマム川沿線道路整備事業ほか13本。2節住宅建設債5,410万円は、公営住宅建設事業。

5目消防債1,390万円は、消防システム機器更新ほか。

6目教育債1節教育総務債2,810万円は、教員住宅建設。2節学校教育施設整備債770万円は、スクールバス購入ほかとなります。

7目臨時財政対策債2,272万3,000円。

8目民生債2億5,000万円は、特別養護老人ホームの建替事業でございます。

歳入の合計につきましては、当初予算額48億1,533万円、補正予算額7億7,242万4,000円、繰越分8,299万4,421円、予算現計額56億7,074万8,421円、調定額55億9,803万1,117円、収入済額55億9,663万9,156円、不納欠損額15万6,277円、収入未済額123万5,684円でございます。

以上で、歳入を終わり、続いて、43ページ、歳出の説明を行いたいと思っております。

歳出。

1款1項議会費5,008万1,225円であります。経費の内訳は、議会活動の運営費、議員の報酬、事務局職員の人件費の執行となっております。

続きまして、2款総務費1項総務管理費1目一般管理費2億6,046万7,204円、これは、職員研修、町長、副町長、総務課、出納課などの職員人件費、役場全体で使用する消耗品や大型プリンターなどの備品の購入費、電算システムの関連経費などでございます。主な不用額についてですが、8節普通旅費157万9,780円、9節交際費98万6,929円、18節負担金補助及び交付金、こちら、北海道自治体情報システム協議会負担金49万7,664円となっております。

続きまして、2目文書広報費861万4,289円は、町広報紙の発行やホームページ管理事業、役場全体の郵便料となっております。

3目財政管理費62万9,640円は、予算書の印刷費。

4目会計管理費326万8,111円は、決算書の印刷、金融機関に対する口座振替、窓口収納、派遣事務手数料などでございます。

5目財産管理費6億7,466万432円でございますが、こちら、庁舎、タウンホール、福祉館、その他公共施設、公用車管理、基金の管理などのほかに、令和4年度でございますが、庁舎改修、福祉館等改修、旧鹿野水産店舗等解体などの費用をやっております。主な不用額でございますが、10節需用費、燃料費などで109万8,731円、12節委託料で、廃棄物処分委託31万3,825円、公用車の運行管理委託44万8,840円、光ケーブル通信取付業務、こちらが90万7,860円となっております。

24節積立金4億8,762万7,931円については、資料ナンバー10を後ほど御覧いただきたいと思います。

一般会計の令和4年度増減高、資料ナンバー10でございますが、積立額5億4,762万7,931円より、前年度の決算譲与積立6,000万円を除いた額が、この決算書の24節の積立額と一致しております。基金につきましては、家庭の預貯金に該当するものであり、一般会計の基金の現在高45億9,718万6,413円を3月末現在の人口で割りますと、210万130円となり、前年度より5万947円の減となっております。

6目町有林管理費3,853万8,528円は、町有林管理に係る経費や町有林拡大事業に係る執行でございます。資料ナンバー26に町有林管理事業収支一覧表がありますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

町有林拡大事業につきましては、33万8,932平米を271万6,344円で購入しており、平成25年から令和4年までに取得した面積の合計は、256万4,194平米となります。

7目企画費8,131万1,126円は、空き家解体事業、ふるさと納税促進事業、移住・定住促進交流関係事業、地域交通確保事業のほか、民間活用住宅建設事業1,600万円、タクシー運行事業1,683万7,930円。この中でふるさと納税事業につきましては、424万9,389円の経費で、551件、804万8,000円の納税がございました。主な不用額については、12節委託料、ふるさと納税業務分で173万6,271円、18節負担金補助及び交付金は、バス利用促進事業等で、128万4,500円、バス購入助成事業で40万6,070円、移住交流事業で35万4,360円となっております。

8目公平委員会費は、執行がございません。

9目交通安全対策費99万388円は、交通安全協会補助金等となります。

10目諸費334万5,422円は、自治会活動等促進交付金は、町功労者表彰などとなります。

11目交流センター管理費3,728万8,377円は、ふるさと交流センター及び周

辺施設の管理費となり、令和4年度はワーケーションブースの設置、トイレ改修を実施しております。資料ナンバー27に管理費の内訳が記載しておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。主な不用額は、10節光熱費42万4,870円、燃料費19万9,000円などとなります。12節委託料は、宿泊施設等管理で191万9,842円となります。

12目銀河の森管理費7,648万3,774円は、天文台、コテージ村・銀河の森専用水道などに係る職員人件費を含む管理経費でございます。令和4年度でございますが、天文台展示室のLED化工事、天文台券売機購入、前年度からの繰越事業で大型望遠鏡のGPS装置、構成の改修などがございます。主な不用額は、10節需用費で、燃料費45万5,989円、電気料22万3,128円などとなっております。11節役務費は、宿泊予約システム76万8,764円ほかとなります。12節委託料、コテージ特別委託料95万4,855円、専用水道の管路等修繕58万2,000円などとなっております。

13目の地域活性化推進費519万7,777円は、地域おこし協力隊員、商工観光推進員の449万4,392円ほかとなります。

14目緊急支援給付金事業費4,013万1,065円は、非課税世帯等への給付金事業となり、非課税462世帯、課税世帯796世帯に給付済みでございます。資料ナンバー23を後ほど御覧いただきたいと思っております。

2項徴税费1目税務総務費1,790万1,309円は、税の還付加算金のほか、職員の人件費など、例年同様の執行となります。22節の償還金利子及び割引料の支出額内訳ですが、個人町民税4件、62万5,200円、法人町民税5件、14万6,800円、所得税1件、3万5,500円。不用額は124万2,500円でございます。

2目賦課徴収費497万7,690円は、税務署に係る電算委託納付書印刷などとなります。12節委託料は例年同様の税務電算処理、3年ごとの固定資産税評価替等となります。18節負担金補助及び交付金は、北海道自治体情報システム協議会分、税滞納整理機構分などとなります。資料ナンバー16に市町村税の滞納整理機構分の引継状況をつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

3項1目戸籍住民基本台帳費3,422万9,254円は、主に職員人件費、北海道自治体情報システム協議会への負担金でございます。18節負担金補助及び交付金は、北海道自治体情報システム協議会負担金であり、令和3年度からの繰越分、マイナンバー所有者のワンストップ化対応272万8,000円を含んでおります。

続きまして、4項選挙費1目選挙管理委員会費728万5,766円。選挙管理委員会委員の報酬、職員人件費等でございます

2目参議院議員選挙費472万275円は、第26回参議院議員通常選挙に係る費用となります。

3目知事・道議会議員選挙費269万3,837円は、投票日が令和5年4月9日のた

め、令和4年度中に執行した費用となります。

5項統計調査費1目指定統計調査費、統計調査に係る費用となります。

6項1目監査委員会費195万8,030円は、監査委員報酬など前年同様の執行となっております。

3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費3億9,352万1,560円ですが、子ども医療費の助成、障害者支援事業費、社協の補助金、福祉住宅、防犯灯の管理、職員の人件費、国保、介護会計への繰出金などがございます。令和4年度の新規事業としては、高齢者世帯等の生活支援給付金184世帯、1世帯1万2,000円でございます、などがあります。

なお、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金につきましては、10万円の71件で、令和3年度から繰り越されております。

27節繰出金、国保会計分2,695万2,136円、介護保険会計4,521万6,520円の執行となります。主な不用額につきましては、10節需用費、防犯灯などの電気料が52万5,051円、18節負担金補助及び交付金は、先ほど言いました前年度繰越事業であります住民税非課税世帯特別給付金が670万円残が出ております。社会福祉協議会補助金147万1,515円。19節扶助費は、重度心身障害者等医療費助成256万9,846円、障害者介護給付費等の支援費で964万833円などとなります。

資料ナンバー28の1に社会福祉総務費の民生費事業の実績状況がございますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

2目老人福祉費4億1,018万750円は、敬老祝い金、高齢者交流センター、老人健康増進センター、ふれあいの郷などの施設管理費、居宅介護事業所設置事業費、デイサービスセンター運営費など、例年同様の執行で、令和4年度は特別養護老人ホームの建替え事業3億3,500万円、デイサービスセンターの屋根改修605万などが含まれております。

主な不用額でございますが、10節需用費、ふれあいの郷等の電気料65万482円、燃料費37万2,348円、福寿荘の食料費141万3,262円。18節負担金補助及び交付金はデイサービスセンターの運営95万7,777円、介護予防日常生活支援総合事業40万6,876円、介護職員の資格取得事業が19万5,313円。

資料ナンバー28の1及び28の2に民生費の事業実績がございますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

3目後期高齢者医療費4,391万7,896円、18節負担金補助及び交付金は、北海道後期高齢者医療広域連合への負担金。28節繰出金は、後期高齢者医療特別会計への繰出金でございます。

2項児童福祉費1目児童福祉総務費1,141万9,002円でございますが、この科目は、出産祝い金、障害児支援事業、児童施設等への通所支援、子どものための教育・保育事業などがございます。主な不用額でございますが、19節扶助費、障害児支援事業

29万6,322円などがございます。

2目児童福祉施設費7,660万7,064円は、保育所の管理運営費、職員人件費など、例年同様の執行となります。

資料ナンバー29に児童福祉関係の実績状況がございますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

3目児童措置費2,290万3,804円、児童手当の支給、子育て世帯生活支援特別給付金、こちら19件でございます。主な不用額は、19節扶助費、児童手当258万円となります。

4款衛生費1項保健衛生費1目保健衛生総務費5,103万9,700円は、この科目は、保健事業に係る事務経費、職員の人件費、医療貸付金などがございます。主な不用額は、3節職員手当等、時間外勤務手当93万6,247円。20節貸付金、これは貸付者なしのためです。

○議長（久保広幸君） 11時15分まで休憩といたします。

休憩 午前10時59分

再開 午前11時15分

○議長（久保広幸君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

今村副町長。

○副町長（今村保広君） それでは、決算書73ページ、中段から行いたいと思います。

2目保健衛生施設費6,649万8,454円は、保健センター、公衆浴場の管理運営費でございます。令和4年度でございますが、屋上の防水改修工事、周辺立木伐採などをやっております。浴場の利用者8,041人でございます。主な不用額は、10節需用費、燃料費207万326円。12節委託料、設備回収分が32万4,000円などとなっております。

3目予防費4,199万1,826円は、各種検診、予防接種、新型コロナウイルスワクチン接種事業などとなります。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う廃棄物処理防疫資材購入を実施しております。主な不用額でございますが、12節委託料、新型コロナ接種関係が44万7,699円、その他予防接種委託が52万4,800円などとなっております。

4目環境衛生費798万1,708円、火葬業務、墓地管理などとなります。令和4年度は合葬施設の調査設計を実施しております。

5目診療所費1億5,548万8,000円は、国民健康保険の直営診療施設勘定特別会計への繰出金でございます。

2項清掃費1目清掃総務費517万6,089円は、し尿処理事業、複合事務組合の汚水処理負担金などがございます。こちらも令和3年度からの繰越明許費9,000円を含みます。また、3,000円が次年度への繰越しとなります。

2目塵芥処理費7,424万4,667円は、例年同様のごみ処理関係費用となります。ごみの量でございますが、収集量607.5トンと、前年度より26.4トン減少しております。

3項水道費1目専用水道費1,115万8,470円は、小利別から下勲祿別までの専用水道に係る経費で、給水戸数は昨年度と同じ19戸でございます。主な不用額は、12節委託料、管路等修繕の95万7,900円でございます。

資料ナンバー31に、4款衛生費から8款までの建設工事対象事業をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

2目水道費1億2,364万3,000円は、簡易水道事業特別会計への繰出金でございます。

5款労働費1項1目労働諸費12万2,770円は、中小企業労働者の福祉共済の加入促進補助金などがございます。

2目緊急雇用対策費707万8,590円は、緊急雇用対策事業で、町内の5社、延べ44名の雇用となっております。不用額については、全て作業実績に伴うものでございます。

3目雇用再生対策費399万、地元雇用促進事業で、新規が16名、継続11名の合計27名。分野別では農業が10名、福祉5名、建設7名、その他5名です。不用額についても、本事業の補助金でございます。

6款農林水産業費1項農業費1目農業委員会費1,774万9,881円は、農業委員の活動運営費、報酬、職員人件費などがございます。

2目農業総務費6,280万9,799円は、職員人件費でございます。

3目農業振興費1億898万7,922円は、農業関係制度資金と、あと中山間地域の直接支払制度などに加え、令和4年度は新型コロナの飼料高騰対策などとして、農業飼料等資材高騰対策事業、草地基盤整備基盤強化事業、また、令和3年度に引き続き、農業者緊急支援事業補助金を実施しています。主な不用額については、18節負担金補助及び交付金の農業推進協議会補助金219万2,420円、農業近代化資金利子補給分の86万871円となります。

4目畜産業費5,010万2,750円は、畜産振興対策費で、優良家畜導入支援事業、酪農ヘルパー事業など、例年同様の執行内容でございます。令和3年度からの自己繰越分で、畜産・酪農収益力強化整備特別対策事業分が1,700万円が支出額に含まれます。主な不用額は、今言った事業の18節負担金補助及び交付金で、畜産クラスター事業の自己繰越事業分が629万6,000円残が出ております。

5目農地費9,205万4,277円は、農業用施設維持管理のほか、決算書85ページに掲載の事業が主な執行内容となっております。令和3年度からの繰越明許、トマム地区道営農業農村整備事業512万5,478円が含まれております。また、令和5年度への繰越明許としまして、道営トマム地区農道整備237万1,000円、道営農地整備

トマム第2地区が42万7,000円が令和5年度への繰越となります。

6目営農用水管理費1億211万9,155円は、上陸別地区、トラリ地区の営農用水の管理費のほか、令和4年度は第2上陸別地区支線配水管新設工事1,017万5,000円、令和3年度からの繰越事業では、第2上陸別地区の道営農業農村整備事業負担金3,533万8,299円も含まれております。主な不用額は、10節需用費、電気料、修繕料。12節委託料、管路等の修繕118万3,000円などとなっております。あともう一つ、令和5年度への繰越明許事業として、道営担い手畑地帯総合整備事業に3,707万3,000円を翌年度へ繰り越します。

7目公共草地管理費514万5,315円は、公共草地の管理経費となります。令和4年度は、トラリ地区の配水管布設工事などを行っております。

8目農畜産物加工研修センター管理費1,799万5,390円は、加工センターの管理運営費と職員人件費で、例年同様の執行であります。年間利用件数は202件で、例年度より1件の減であります。

2項林業費1目林業振興費1億2,128万2,596円は、民有林の整備事業、森林環境譲与税事業、小規模治山事業などへの執行で、このうち、森林環境譲与税事業は、合計で4,402万4,203円となります。主な不用額は、18節民有林造林促進事業に246万5,177円などとなっています。

資料ナンバー32に、豊かな森づくり推進事業など、資料ナンバー33に森林作業員就業条件整備事業を添付してございますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

2目狩猟費642万9,939円は、有害鳥獣の駆除等に係る経費で、例年同様の執行でございますが、主な不用額は、1節報酬、有害鳥獣駆除従事者報酬が75万4,000円、7節駆除奨励金100万8,556円となります。

3目林道新設改良費3,463万6,913円は、林道の改良工事、維持管理に係る工事等で、掲載しております主要事業が主な内容でございます。

また、こちら資料ナンバー31を後ほど御覧いただきたいと思っております。

7款商工費1項商工費1目商工総務費1,897万5,078円は、職員人件費で、主な不用額は時間外勤務手当61万2,192円となります。

2目商工振興費1億7,631万9,171円は、こちら、中小企業への融資関係、商工業への振興補助などがございます。このうちプレミアム商品券は、換金実績で1億1,400万円以上、小規模企業等振興事業は34件、日産自動車購入費助成は9台となっております。主な不用額は、18節で中小企業融資関係230万9,056円、プレミアム商品券発行で110万4,664円、商工振興事業102万4,837円などとなっています。

3目観光費1,829万405円は、イベント開催補助金、観光協会補助金、観光物産館の運営委託などとなります。

4目公園費769万1,711円は、公園等の管理に係る経費などのほか、令和4年度

は北陵岳の山小屋屋根改修を実施しております。主な不用額は、12節委託料、イベントセンター等の整備50万3,628円となります。

5目消費者対策費17万4,440円は、消費生活窓口の運営費となります。

8款土木費1項土木管理費1目土木総務費4,423万1,047円は、樋門・樋管管理、職員人件費など、例年同様でございます。主な不用額は、3節の時間外勤務手当38万7,058円などでございます。

2項道路橋りょう費1目道路橋りょう総務費1,828万221円は、ダンプやグレーダーなどの管理、道路台帳の整備などとなります。主な不用額は、10節の車両用消耗品91万710円、11節役務費で自動車引き上げ手数料115万969円となっております。

2目道路維持費1億4,505万7,759円は、町道の維持管理経費で、掲載しております主要事業が主な内容となっております。主な不用額は、12節委託料、除排雪業務356万3,558円、路面補修134万2,000円などとなっております。

3目橋りょう維持費8,031万2,720円は、橋梁の長寿命化工事、橋梁点検など、町道にある橋の維持点検費用となります。主な事業は掲載のとおりとなっております。

4目道路新設改良費5,347万2,100円は、町道の整備や舗装工事などの執行で、令和4年度は主に3路線の整備となります。

5目街路灯費1,054万3,250円は、街路灯の維持管理費とLED化工事が主な事業となります。令和4年度末で182基のうち、154基がLED化完了しております。また、令和5年度は12基の工事を実施中でございます。

3項河川費1目河川総務費571万5,071円は、普通河川の管理、河道整備などが執行内容となります。不用額につきましては、12節委託料で河川維持管理51万2,700円となります。

4項住宅費1目住宅管理費4,990万8,103円は、町営住宅の維持管理整備改修となります。管理戸数が235件で、年度末の空き家66件、このうち29件につきましては政策的空き家としております。

2目住宅建設費1億3,691万9,243円は、社会資本整備総合交付金事業として、公営住宅の新設、解体、屋根塗装工事を実施しており、主要事業に掲載のとおりでございます。

5項1目下水道費8,951万9,720円は、公共下水道事業特別会計への繰出金となります。

9款1項1目消防費1億8,537万7,334円は、十勝広域消防事務組合への負担金、それと陸別消防団に係る費用となります。令和4年度は、地下貯留槽の撤去工事を実施しております。

2目災害対策費974万3,673円は、防災行政無線管理、災害備蓄品管理、防災計

画改定などとなっております。

10款教育費1項教育総務費1目教育委員会費153万6,131円は、教育委員の報酬など、例年同様の執行となります。奨学資金については、大学等12名、高校生2名となります。

3目教育振興費1,153万4,527円は、小中一貫教育推進委員会交付金、教育振興賞学習支援員、英語指導助手に係る費用などでございます。

4目スクールバス運行管理費は4,692万4,564円で、スクールバスの運行管理費であり、令和4年度はバス1台更新しております。スクールバスの利用状況は1万2,532人で、前年度より1,526人の減です。

5目教育研究所費400万159円は、例年同様でございます。

2項小学校費1目学校管理費2,689万8,773円は、小学校の維持管理や児童、教職員の健康診断など、例年同様の執行のほか、令和4年度、職員室の空調設備を設置しております。主な不用額は、10節需用費、燃料費51万6,452円でございます。

2目教育振興費1,287万2,130円は、児童の就学援助、給食費補助、電算機器の償還金など、例年同様の執行でございます。

続きまして、3項中学校費1目学校管理費3,122万3,874円は、中学校の維持管理や生徒、教員の健康診断など、例年同様の執行のほか、職員室等への空調設備、外灯のLED化などを実施しております。主な不用額は、10節需用費で、燃料費分11万3,797円でございます。

2目教育振興費1,103万762円は、生徒等の就学援助、給食費補助、電算機器購入の償還金などで例年同様の執行です。

4項社会教育費1項社会教育総務費1,115万5,081円は、社会教育関係事業や団体活動補助、学童保育所の運営など、例年同様の執行です。令和4年度は、新型コロナウイルスの関係で中止となりましたカナダ研修の代わりに代替事業なども実施しております。

2目公民館費1,215万2,354円は、公民館の管理運営に係る費用であり、令和4年度の図書室利用者数1,605人、貸出数1,493人となっております。

3目文化財保護120万2,423円は、史跡等の維持管理、関寛齋資料館の管理と、例年同様の執行となります。資料館の入館者は、363人と、前年度より140人増加しております。

5項保健体育費1目保健体育総務費204万8,382円は、社会体育関係事業や団体活動の補助など、例年同様の執行でございます。

2目体育施設費1,836万2,631円は、社会体育施設の運営及び維持管理に関する執行で、こちらも例年同様でございます。

3目学校給食費5,785万5,243円は、給食センターの管理運営費、職員の人件費であり、令和4年度より、調理等の業務委託を実施しております。

1 1 款災害復旧費 1 項農林水産業施設災害復旧費 1 目農業用施設災害復旧費、2 目林業用施設災害復旧費、2 項公共土木施設災害復旧費は、それぞれ、令和 4 年度は災害がございませんので、事務経費のみの執行となります。

1 2 款 1 項公債費 1 目元金 5 億 7, 4 4 6 万 6, 7 6 8 円、2 目利子 1, 8 8 6 万 2, 8 5 4 円につきましては、資料ナンバー 1 1 で、起債残高推移をつけておりますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

1 3 款 1 項予備費につきましては、4 件、2 3 2 万 3, 2 4 3 円を充当しております。

歳出の合計につきましては、当初予算額 4 8 億 1, 5 3 3 万円、補正予算額 7 億 7, 2 4 2 万 4, 0 0 0 円、繰越明許費等繰越額 8, 2 9 9 万 4, 4 2 1 円で、予算現計 5 6 億 7, 0 7 4 万 8, 4 2 1 円で、支出済額 5 5 億 1 6 9 万 5, 6 0 9 円、翌年度への繰越明許費が 3, 9 8 5 万 4, 0 0 0 円でございます。不用額 1 億 2, 9 1 9 万 8, 8 1 2 円で、予算流用は 8 件で 5 6 万 2, 4 7 5 円でございます。

続きまして、1 2 5 ページ、実質収支に関する調書でございますが、こちら、単位は千円となっております。

歳入総額 5 5 億 9, 6 6 3 万 9, 0 0 0 円、歳出総額 5 5 億 1 6 9 万 6, 0 0 0 円、歳入歳出差引額 9, 4 9 4 万 3, 0 0 0 円、翌年度へ繰り越すべき財源は、繰越明許費のみで 2 0 9 万 5, 0 0 0 円、これを差し引きから引きまして、実質収支が 9, 2 8 4 万 8, 0 0 0 円でございます。

実質収支額の 2 分の 1 以上の 5, 0 0 0 万円を財政調整基金に積み立てますので、4, 2 8 4 万 8, 0 0 0 円が翌年度への繰越となります。

1 2 6 ページにつきましては、説明したいと思ひます。財産に関する調書でございます。

まず、1 番目、公有財産、(1) 土地、建物、ア総括で、こちら、行政財産と普通財産に区分されております。土地の合計欄を御覧いただきたいと思ひます。年度中の増減 3 3 万 8, 9 3 2 平米の増加で、合計は 3, 3 2 5 万 2, 1 8 7. 8 6 平米となります。その次、この建物、右側の欄ですが、延べ面積を御覧いただきたいと思ひます。決算年度中の増減が 2 9 6. 2 5 平米の減で、年度末合計が 6 万 3, 8 5 0. 3 7 平米となります。1 2 7 ページと 1 2 8 ページが区分別の財産内訳となります。

1 2 9 ページ、(2) 山林でございます。年度中の増減は 3 3 万 8, 9 3 2 平方メートルの増で、年度末現在高は 2, 3 9 4 万 2, 8 2 3 平米となります。立木の推定蓄積量は、年度中増減が 9 万 3, 6 3 0 立方メートルで、年度末合計は 5 5 万 8, 3 2 1 立方メートルとなります。

(3) 有価証券、(4) の無体財産等は変更ございません。

1 3 0 ページ、(5) 出資による権利につきましては、北海道市町村備荒資金組合の出資配分金による増が 6 2 2 万 8, 0 0 0 円あります。あと、足寄町森林組合の配当金分が 6 万 1, 0 0 0 円の増資となっております。このほか物品につきましては 1 3 1 ページ

から132ページ、備品については133ページから134ページ、債権及び基金については135ページ、行政財産、普通財産の増減説明書が136ページとなりますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

以上で、議案第66号の説明を終わりました、次に、議案第67号の説明に移ります。

説明資料より説明を行いますので、167ページを御覧いただきたいと思います。

第1表、国民健康保険事業の最近年度比較表でございます。年間平均世帯数でございますが、22世帯、前年より減です。年間平均被保険者、前年より43人の減です。1人当たりの税調定額は1,698円の減、1人当たりの療養諸費費用額は9万3,688円の減です。

第2表でございますが、歳入歳出決算の総括は御覧のとおりでございますが、差引額、残額42万4,704円は、令和5年度への繰越金となります。

第3表と第4表については、科目ごとの前年度との比較表となります。

第3表、令和4年度の歳入の合計額は、調定額3億2,700万4,090円、収入済額3億2,605万3,861円で、令和3年度より7,778万4,179円の減となります。

1款国民健康保険税でございますが、収入済額が5,843万4,913円で、歳入に占める割合が17.9%、不納欠損額1万3,200円、収入未済額93万7,029円で、収納率は98.4%となります。

169ページを御覧いただきたいと思います。

第4表、令和4年度の歳出合計額でございますが、3億2,562万9,157円で、前年度より7,711万1,431円の減でございます。不用額は1,999万5,843円でございます。

170ページ、第5表、左側が現年度分、右側が滞納繰越分でございます。現年収入分が5,821万4,371円で、前年より568万5,229円の減です。収入未済額は、こちら7件、54万7,029円で、前年より12万3,529円の増、収納率は99.1%でございます。滞納繰越分は、収入済額22万542円、前年度より5万8,943円の増、収入未済額は8件、39万円、前年度より18万7,658円の増、不納欠損額1件、1万3,200円で、前年度より8,200円の減、収納率は35.4%でございます。

第6表については、記載のとおりでございますので、後ほど御覧いただきたいと思います。

続いて、事項別明細書149ページをお願いします。

歳入でございます。

1款1項1目国民健康保険税5,843万4,913円の収入であり、1節現年課税分の収入済額は5,821万4,371円、収入未済額は7件、54万7,029円で、前年

度より1件の減であります。2節滞納繰越分の収入済額は22万542円で、不納欠損額1件、1万3,200円、収入未済額は8件、39万円で、前年度と同件数であります。

2款国庫支出金1項国庫補助金1目災害臨時特例補助金は、科目存置。

3款道支出金1項道負担金1目保険給付費負担金1節普通交付金1億5,864万6,978円、こちら、歳出の2款の保険給付費に対応する金額となっております。差額については翌年度精算となります。2節特別交付金6,888万円、これについては、保険者努力支援分が182万5,000円、特別調整交付金分4,725万2,000円、その他特定健診分などとなっております。

4款財産収入1項財産運用収入1目利子及び配当金は、基金利息604円でございます。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金1節保険基盤安定繰入金1,549万5,136円、これは保険料軽減分と保険者支援分で、一般会計に国、道より4分の3の歳入が入ります。2節未就学児均等割保険料繰入金15万4,000円。3節事務費繰入金669万6,000円。4節出産育児一時金等繰入金28万円、こちら1件分でございます。5節財政安定化支援事業繰入金は、普通交付税の算入額でございます。6節その他一般会計繰入金75万6,000円。

2項基金繰入金1目国民健康保険基金繰入金は1,200万円。

6款1項1目繰越金は、前年度繰越金で109万7,452円。

7款諸収入1項延滞金加算金及び過料1目延滞金、こちら4件分で1万3,500円です。

2項1目雑入2万8,278円は、健康診査個人負担金と高額療養費の返還金です。

歳入合計については、当初予算額4億4,428万4,000円、補正予算額9,865万9,000円の減額、予算現計額3億4,562万5,000円、調定額3億2,700万4,090円、収入済額3億2,605万3,861円、不納欠損額1万3,200円、収入未済額93万7,029円でございます。

以上で歳入を終わりました、歳出の説明になりますので、155ページを御覧ください。

歳出。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費519万3,735円は、国保会計の事務経費や国保連合会への負担金で、例年同様でございます。

2目連合会負担金43万9,720円は、国保連合会の負担金で、こちらも例年同様の執行でございます。

2項徴税费1目賦課徴収費25万9,440円は、納税徴収事務や十勝市町村税の滞納整理機構への負担金などで、こちらも例年同様の執行でございます。

3項1目運営協議会費2万5,700円は、国保運営協議会委員報酬等でございます。

2 款保険給付費であります。こちら、項目ごとに前年度との比較を説明させていただきたいと思っております。

1 項療養諸費 1 目療養給付費、こちら、前年度より 5,237 万 1,426 円の減です。

2 目療養費 75 万 5,550 円でございますが、こちら、前年度より 65 万 1,118 円の減です。

3 目診査支払手数料 45 万 9,037 円ですが、前年度より 5 万 8,801 円の減です。

2 項 1 目高額療養費 1,512 万 981 円ですが、前年度より 1,295 万 7,199 円の減です。

2 目高額介護合算療養費は、執行なし。

3 項出産育児諸費、こちらは 1 目出産育児一時金、1 件分、42 万円となります。

4 項葬祭諸費、こちら 2 件分で 6 万円です。

続きまして、3 款国民健康保険事業費納付金でございますが、1 項 1 目医療給付費分で 7,441 万 1,000 円でございます。

2 項 1 目後期高齢者支援金等分で 2,126 万 1,000 円。

3 項 1 目介護納付金分 704 万 1,000 円。

続きまして、4 款 1 項 1 目共同事業拠出金は、こちら、退職者医療事業の処理分担金で 14 円の支出です。

5 款 1 項 1 目財政安定化基金拠出金は、執行はありません。

6 款保健事業費 1 項 1 目特定健康診査等事業費 264 万 2,206 円は、例年同様の執行で、特定健診 237 名、二次健診が 22 名の受診となります。

2 項 1 目保健事業費 1,021 万 8,378 円は、健康増進事業、ヘルスアップ事業で、例年同様の執行でございます。12 節委託料はインフルエンザの予防接種が 117 人、高齢者肺炎球菌予防接種 8 人などとなっております。主な不用額は、それぞれ 12 節委託料でヘルスアップ事業分 32 万 970 円ほかとなっております。

7 款諸支出金 1 項償還金及び還付加算金 1 目償還金 5 万 500 円は、国保税の還付金 5 件と還付加算金 1 件でございます。不用額は、還付金、22 節償還金利子及び割引料で、還付金の 74 万 9,500 円となります。

2 項繰出金 1 目直営診療施設勘定繰出金 4,546 万 9,000 円、こちら、特別調整交付金のへき地直営診療施設運営分となります。

8 款 1 項 1 目予備費については、執行ございません。

歳出の合計につきましては、当初予算額 4 億 4,428 万 4,000 円、補正額 9,865 万 9,000 円の減額、予算現計額 3 億 4,562 万 5,000 円、支出済額 3 億 2,562 万 9,157 円で、不用額 1,999 万 5,843 円でございます。

なお、資料ナンバー 34 の 1 及び 34 の 2 に、歳入歳出決算資料をつけてありますの

で、後ほど御覧いただきたいと思います。

165ページ、実質収支に関する調書、こちら、単位1,000円でございますが、歳入総額3億2,605万3,000円、歳出総額3億2,562万9,000円、差引額42万4,000円、こちら実質収支額と同額の42万4,000円は翌年度への繰り越しとなります。

以上で、議案第67号の説明を終わります。

○議長（久保広幸君） 午後1時まで昼食のため、休憩いたします。

休憩 午前11時50分

再開 午後 1時00分

○議長（久保広幸君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

今村副町長。

○副町長（今村保広君） 説明に入る前に、1点だけ修正箇所がございましたので、説明させていただきます。

決算書99ページの中段、5目の街路等費の街路灯の何基あるかという基数について、ちょっと誤りがございましたので、訂正させていただきます。

令和4年末で175基、街路灯がございます。そのうち、令和4年末で154基、LED化工事が終わっております。令和5年度は12基、今年度12基やってございます。

以上でございます。

大変申し訳ございませんでした。

それでは、190ページ、お願いいたします。

議案第68号の令和4年度陸別町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の説明につきましては、説明資料から説明いたします。

190ページ、第1表。

予算額3億4,281万9,000円、歳入決算額3億2,926万1,359円、歳出決算額3億1,725万9,818円、差引残額1,200万1,541円、これは翌年度への繰越金となります。

191ページ、第2表、192ページ、第3表、これはともに科目ごとの令和3年度と令和4年度の比較表でございます。

第2表、191ページでございますが、令和4年度の合計調定額3億2,926万8,259円、収入済額3億2,926万1,359円で、前年度より930万7,003円の減です。歳入額のうち、診療収入は26.9%であり、収入未済額が6,900円となります。

第3表、令和4年度の歳出の合計でございますが、支出済額3億1,725万9,818円で、前年度より59万4,738円の減。不用額は2,555万9,182円でございます。

193 ページ、第4表、診療収入状況でございますが、左側が入院、右側が外来でございます。入院分でございますが、収入済額374万3,647円で、前年より318万1,154円の減でございます。外来分は、収入済額5,947万3,529円で、前年度より271万425円の減でございます。未収額は6,900円で、外来一般一部負担金1件分でございます。

194 ページ、第5表、経費別支出内訳表でございますが、1番、総務費2億7,789万5,774円で、前年度より632万8,721円の減。2番目、医業費3,551万7,800円は、前年度より573万4,278円の増でございます。3番目、公債費384万6,244円は、前年度より295円の減でございます。

195 ページ、第6表、年間の入院患者数は162人で、前年度より231人の減です。外来は1万1,835人で、前年度より1,641人の増となります。

196 ページ、2番、職員数、3番、患者1人当たりの診療収入ほかとなっていますので、後ほど御覧をいただきたいと思っております。

それでは、174 ページ、事項別明細書の説明を行いたいと思っております。

1款診療収入の収入済額は8,871万3,776円、前年度より1,243万964円の減です。収入未済額は1件、6,900円で、2項外来収入、5目の一部負担金でございます。1項入院収入、2項外来収入の各項目につきましては、193 ページの説明資料の第4表で記載のとおりでございますので、説明は省略いたします。

176 ページの中段、3項その他診療収入1目諸検査等収入2,549万6,600円は、事業者健診や血液検査、予防接種等となります。前年度比653万9,385円の減。これは予防接種分が減ったのが主な原因でございます。

2款使用料及び手数料1項手数料1目文書料78万500円。診断書、介護意見書などでございます。

3款道支出金1項道補助金1目総務費補助金20万円は、医療施設物価高騰対策支援金でございます。

2項委託金1目総務費委託金50万1,520円は、施設療養体制整備事業委託金であります。

4款財産収入1項財産運用収入1目財産貸付収入47万2,800円は、職員住宅3件分の貸付収入です。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金1億5,548万8,000円でございます。内訳は、起債償還分348万7,000円、財政対策分1億4,590万4,000円、施設整備分405万9,000円、医療機器の整備分が167万8,000円、以上となります。

2目国保事業勘定特別会計繰入金4,546万9,000円は、これは国保会計に入るべき地診療所運営分4,361万9,000円と医療機器整備分165万円、以上の合計となります。

6款1項1目繰越金は、前年度繰越金で2,071万3,806円。

7款諸収入1項1目雑入1節私用電話料4,130円。2節雑入411万7,827円は、嘱託医報酬360万円、患者外給食31万3,650円などとなっております。

8款1項町債1目医業債1,280万円は、超音波画像診断装置購入に係るものでございます。

歳入の合計につきましては、当初予算額3億4,892万2,000円、補正予算額610万3,000円の減額、予算現計額3億4,281万9,000円、調定額3億2,926万8,259円、収入済額3億2,926万1,359円、収入未済額6,900円でございます。

続きまして、歳出に移ります。182ページになります。

1款総務費1項施設管理費1目一般管理費2億7,745万364円は、こちら、職員人件費、施設管理運営費、事務費、臨時看護師の雇用経費などがございます。例年同様の経費、そのほかに、3か年工事の最終年である屋上防水工事を執行しております。主な不用額については、1節報償費、報酬、こちら、臨時看護師の雇用分で223万4,523円、3節の職員手当は時間外勤務手当等、8節旅費は普通旅費71万5,190円、12節委託料、看護業務委託料が705万1,884円、以上が主な不用額となります。

2項1目研究研修費44万5,410円は、例年同様の執行の内容で、不用額は、8節旅費、学会、研修会などの参加のための旅費、これが85万400円の残があります。

2款1項医業費1目医療用機械器具費1,614万1,400円は、超音波画像診断装置1,449万8,000円とポータブル血液分析装置の購入でございます。

2目医療用消耗機材費663万8,943円は、前年より174万8,380円の減で、主な不用額は、10節需用費の医療用消耗機材費、12節委託料は在宅酸素管理委託の157万5,310円が主な不用額となります。

3目医薬品費574万5,184円は、前年度より134万7,030円の減。不用額は、同じく需用費の医薬品、予防接種ワクチンなどで476万2,816円となります。

4目検査費502万1,631円は、前年度より87万5,258円の増。不用額は、同じく検査費となります。

5目寝具費70万9,979円。

2項1目給食費126万663円は、前年度より187万7,786円の減。不用額は、10節需用費の給食賄い材料80万8,437円などとなります。

3款1項公債費384万6,244円は、元金及び利子でございます。

4款1項1目予備費は充当はございません。

歳出の合計につきましては、当初予算額3億4,892万2,000円、補正予算額610万3,000円の減額、予算現計額は3億4,281万9,000円、支出済額3億1,725万9,818円、不用額2,555万9,182円でございます。

資料ナンバー35の1と35の2に、運営状況をつけてございますので、後ほど御覧

いただきたいと思います。

次、188ページ、実質収支に関する調書。1,000円単位でございます。

歳入総額3億2,926万1,000円、歳出総額3億1,726万円、差引額と実質収支額は同額の1,200万1,000円でございます。これが翌年度繰越金となります。

以上で、議案第68号の説明を終わりました、続いて、議案第69号の説明に移ります。

議案第69号、令和4年度陸別町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算。

まず、210ページを御覧ください。

第1表でございますが、予算額2億2,97万9,000円、歳入総額2億2,56万3,940円、歳出総額1億9,404万2,640円、差引852万1,300円、こちらは翌年度へ繰越金となります。

第2表及び第3表は、科目ごとの年度比較表でございます。

211ページ、第2表、令和4年度の歳入合計は、調定額2億2,56万7,648円、収入済額は2億2,56万3,940円で、前年度より634万4,635円の増となり、収入未済額は3,708円です。

212ページ、第3表、令和4年度の歳出の合計は、支出済額が1億9,404万2,640円で、不用額は893万6,360円です。

213ページ、第4表は、陸別地区の水道使用量の調定額は5,167万7,475円、収入済額5,167万3,767円で、前年度より陸別地区が97万8,845円の減となっております。一般用の収入済額は3,667万1,208円でございます。

以下、営業用から臨時用までは記載のとおりでございます。後ほど御覧いただきたいと思います。

下段の表の令和5年3月末の用途別給水戸数でございますが、前年度対比で申し上げたいと思います。一般用が8戸の減、団体用1戸増、臨時用が1戸減、合計で8戸の減、以上となります。

第5表、給水状況でございますが、前年度対比で、給水量が29万7,601立方メートルと1,014立方メートルの減でございます。給水人口が46人の減、1人1日平均給水量が412リットルで8リットルの増となります。

続きまして、事項別明細書200ページ、歳入をお開きいただきたいと思います。

1款使用料及び手数料1項使用料1目水道使用料5,167万3,767円は、97万8,845円の減で、収入未済額1件、3,708円になります。

2項手数料、こちら1目水道手数料は、新設4件、改造6件の合計5万6,000円となります。

2款財産収入1項財産売払収入1目物品売払収入の収入はございません。

3款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金1億2,364万3,000円は、建設改良分が6,512万3,000円、高料金対策分が3,501万3,000円、財政対

策分が2,345万円などとなっております。

4款1項1目繰越金は、前年度繰越金で446万3,211円。

5款諸収入1項1目雑入642万7,962円は、こちら、水道管の移設補償費、あと下水道会計からの事務負担金、あと建物災害共済金などとなっております。

6款1項町債1目簡易水道事業債は、配水管整備事業分で1,630万円。

歳入の合計額、当初予算額2億550万6,000円、補正額252万7,000円の減額、予算現計額2億297万9,000円、調定額2億256万7,648円、収入済額2億256万3,940円、収入未済額3,708円。

以上で歳入を終わりました、204ページ、歳出となります。

歳出。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費2,735万1,133円は、職員人件費と水道台帳の管理と料金収納事務、消費税の納付などがあります。令和4年度は公営企業法適用化支援負担金があります。主な不用額は、3節の職員手当等で時間外勤務手当53万5,924円などとなっております。

2款施設費1項施設管理費1目施設維持費4,311万3,097円は、施設の維持経費が主な内容で、令和4年度は浄水場の機械設備分解清掃委託、浄水場屋根復旧工事、トナム地区配水管支障移転工事などがあります。主な不用額でございますが、12節の委託料で、管路等の修繕委託554万2,900円があります。

3款1項公債費1目元金1億1,385万3,109円、2目利子972万5,301円を合わせまして支出済額が1億2,357万8,410円で、前年度より42万6,298円増となっております。

4款1項1目予備費については、執行がございません。

歳出の合計額については、当初予算額2億550万6,000円、補正額252万7,000円の減額、予算現計額2億297万9,000円、支出済額1億9,404万2,640円、不用額は893万6,360円となります。

続きまして、208ページ、実質収支に関する調書。こちら1,000円単位でございます。

歳入総額2億256万4,000円、歳出総額1億9,404万3,000円、差引額と実質収支額は同額の852万1,000円で、こちらは翌年度繰越となります。

以上で、議案第69号の説明を終わり、続いて、議案第70号の説明に移りたいと思います。

議案第70号は、令和4年度陸別町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算でございます。

こちら説明資料より説明しますので、228ページをお開きください。

第1表、歳入歳出決算の総括です。

予算額1億2,763万円、歳入決算額1億2,748万7,908円、歳出決算額1億

2,563万2,570円、差引185万5,338円が、こちら翌年度への繰越金となります。歳出の執行率は98.4%でございます。

第2表、第3表、こちらが科目ごとの前年度との比較表でございます。

第2表の歳入の調定額合計は、こちら収入済額と同じで1億2,748万7,908円で、前年度より359万1,096円の減となります。

第3表は歳出の合計額の支出済額1億2,563万2,570円、前年度より357万1,822円の減で、不用額につきましては、199万7,430円で、前年度より24万822円の増となります。

231ページ、第4表、陸別地区の調定額と収入済額でございますが、こちら同額で2,439万5,216円で、前年度より91万2,473円の減となります。減額分の内訳でございますが、一般用が90万6,873円の減、公衆浴場用が5,600円の減です。下段の表でございますが、令和5年3月末の処理状況であります。前年度と比較して処理人口66人の減、水洗化人口55人の減、水洗化率につきましては0.4%の増です。

続きまして、218ページ、事項別明細書に移りたいと思います。

歳入でございます。

1款分担金及び負担金1項分担金1目下水道事業分担金62万5,000円。これは前年度より3戸増えて25件分でございます。

2款使用料及び手数料1項使用料1目下水道使用料2,439万5,216円。

2項手数料1目下水道手数料2万4,000円は、新設2件、その他2件でございます。

3款国庫支出金1項国庫補助金1目下水道事業補助金543万8,950円は、浄化センターの機器更新工事に係る補助金でございます。

4款財産収入1項財産売払収入1目物品売払収入1万410円は、こちら、機器更新に伴う素材の売払収入でございます。

5款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金8,951万9,720円は、建設改良費分428万6,000円、高資本対策分767万2,000円、分流式下水道分4,487万9,000円、財政対策分3,172万3,000円ほかとなっております。

6款1項1目繰越金は前年度繰越金で187万4,612円。

7款1項町債1目下水道事業債は560万円で、こちら、機器更新工事に伴うものであります。

歳入の合計は、当初予算額1億3,881万円、補正額1,118万円、予算現計額1億2,763万円の減額、調定額と収入済額は同額であり、1億2,748万7,908円でございます。

続きまして、222ページ、歳出に移りたいと思います。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費788万237円は、職員人件費、台帳整

備費、消費税の納付など、例年同様の執行のほか、地方公営企業法適用支援負担金がございます。

2款施設費1項施設管理費1目施設維持費4,802万9,021円は、施設維持経費であります。令和4年度は公共汚水ます調査なども実施しております。

3款事業費1項下水道整備費1目下水道建設費1,132万6,110円は、下水道及び浄化センター機器等の整備に係る執行でございます。

4款1項公債費1目元金5,312万661円、2目利子527万6,541円を合わせた5,839万7,202円で、こちら、前年度より233万5,191円の増でございます。

5款1項1目予備費の充当はございません。

歳出の合計につきましては、当初予算額1億3,881万円、補正予算額1,118万円の減額、予算現計額1億2,763万円、支出済額1億2,563万2,570円、不用額は199万7,430円でございます。

226ページ、実質収支に関する調書に移りたいと思います。1,000円単位でございます。

歳入総額1億2,748万8,000円、歳出総額1億2,563万3,000円、差引額と実質収支額は同額の185万5,000円で、こちら翌年度への繰越となります。

以上で、議案第70号を終了し、次に、議案第71号に移りたいと思います。

議案第71号、令和4年度陸別町介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算についてであります。

こちら説明資料から説明いたしますので、261ページを御覧いただきたいと思います。

第1表、予算額3億207万9,000円、歳入決算額3億2,337万9,049円、歳出決算額2億9,259万7,943円、差引残額3,078万1,106円は、翌年度への繰越となります。

第2表、第3表は、こちら科目ごとの年度比較表でございます。

第2表、令和4年度の歳入合計は、調定額3億2,417万1,639円、収入済額3億2,337万9,049円で、前年度より297万593円の増です。不能欠損額25万1,990円、収入未済額54万600円でございます。

第3表、令和4年度の歳出合計は、支出済額が2億9,259万7,943円で、こちら、前年度より1,623万6,376円の減でございます。不用額は948万1,057円でございます。

第4表、保険料収納状況で、左側は現年分、右側が滞納繰越分となります。現年度賦課分は、調定額4,993万6,280円で、収入済額4,969万6,640円で、収入未済額23万9,640円で、こちら前年度より6万1,320円の減でございます。収納率は99.5%であります。滞納繰越分、調定額55万2,950円、収入はございま

せん。不納欠損額25万1,990円、収入未済額30万960円、収納率はゼロ%となります。現年度分と滞納繰越分の収入未済額の合計は54万600円となります。

以上で、説明資料を終わり、続いて、237ページ、事項別明細書のほうに移りたいと思います。

1款1項介護保険料1目第1号被保険者保険料は、収入済額4,969万6,640円であり、令和4年度末の被保険者数は809人で、35人の減となります。1節の現年度分の収入済額4,969万6,640円で、収入未済額は5件で23万9,640円となります。2節滞納繰越分の収入済額はございません。不納欠損額は4件で25万1,990円。収入未済額4件で30万960円でございます。

2款国庫支出金1項国庫負担金1目介護給付費負担金6,445万5,188円は、歳出の介護給付費に係る施設分15%、その他分20%分でございます。

2項国庫補助金1目調整交付金2,237万9,000円は、こちら歳出の介護給付費の9.01%となります。

2目地域支援事業交付金508万760円は、介護予防日常生活支援総合事業分が193万3,000円で、それ以外の事業分が314万7,760円でございます。

3目保険者機能強化推進交付金41万1,000円は、こちら、いきがい活動支援事業への取組補助金でございます。

4目保険者努力支援交付金33万3,000円は、介護予防生活支援サービス事業に対する補助金でございます。

3款道支出金1項道負担金1目介護給付費負担金4,199万3,053円は、こちらは介護給付費に係る施設分17.5%とその他分12.5%でございます。

2項道補助金1目地域支援事業交付金246万7,629円は、介護予防日常生活支援総合事業分89万3,750円と、それ以外の事業分が157万3,879円となります。

4款1項支払基金交付金1目介護給付費交付金7,584万3,097円は、こちらも介護給付費の27%でございます。1節現年度分7,433万8,000円と過年度分150万5,097円となります。

2目地域支援事業支援交付金193万円は、介護予防事業分でございます。

5款財産収入1項財産運用収入1目利子及び配当金は、基金利子339円でございます。

6款繰入金1項他会計繰入金1目一般会計繰入金4,521万6,520円でございます。こちら、前年度と比較して節ごとに説明いたします。

1節介護給付費繰入金は311万4,000円の減です。2節事務費繰入金は36万5,000円の減。3節地域支援事業繰入金は9万5,000円の増。4節低所得者保険料軽減繰入金は11万7,135円の減でございます。

2項基金繰入金1目介護給付費準備基金繰入金159万1,000円。

7款1項1目繰越金は、前年度繰越金で1,157万4,137円でございます。

8款諸収入1項延滞金及び過料1目第1号被保険者延滞金及び2目第1号被保険者過料については、支出がございませんでした。

2項雑入1目滞納処分費、2目第三者納付金、3目返納金も支出がございませんでした。

4目雑入40万7,686円でございますが、介護扶助審査判定業務費34万980円などとなっております。

歳入の合計につきましては、当初予算額3億1,016万円、補正額808万1,000円の減額、予算現計額3億207万9,000円、調定額3億2,417万1,639円、収入済額3億2,337万9,049円、不納欠損額25万1,990円、収入未済額54万600円。

続いて、歳出に移りたいと思います。245ページをお開きください。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費4万2,860円は、普通旅費など、例年同様の執行となります。

2項1目賦課徴収費24万683円、こちらも例年同様でございます。

3項1目介護認定審査会費215万8,300円。

2目認定調査費57万9,700円、こちらは例年同様でございます。

1目の11節役務費の主治医意見書は127件、2目の12節介護認定調査業務131人でございます。

2款保険給付費1項介護サービス等諸費1目居宅介護サービス給付費1億2,230万7,925円は、前年度より361万518円の増でございます。延べ利用者でございますが、1,616人、前年度より117人の増。不用額は228万5,075円です。

2目居宅介護サービス計画給付費786万3,390円は、前年度より18万6,610円の増、延べ利用者が554人でございます。

3目施設介護サービス給付費1億977万4,791円は、延べ利用者442人であります。

4目居宅介護福祉用具購入費15万5,953円は、利用件数は前年と同じ5件です。

5目居宅介護住宅改修費28万107円は、これも利用件数は5件で、2件の増となっております。

2項介護予防サービス等諸費1目介護予防サービス給付費150万6,096円は、こちら、前年度より101万910円の減で、延べ利用者が218人です。

2目介護予防サービス計画給付費98万700円は、こちら、延べ利用者216人です。

3目介護予防福祉用具購入費23万521円、利用件数は7件。

4目介護予防住宅改修費、利用件数3件です。

3項その他諸費1目審査支払手数料17万8,475円。

4項高額介護サービス等費1目高額介護サービス費493万5,754円は、延べ利用者479人です。

2目高額介護予防サービス費は、利用がございません。

5項高額医療合算介護サービス等費1目高額医療合算介護サービス費は235万4,657円で、利用者は56人です。

2目高額医療合算介護予防サービス費は、利用がございません。

6項特定入所者介護サービス等費1目特定入所者介護サービス費1,217万4,646円は、延べ利用者378人。

2目特例特定入所者介護サービス費、3目特定入所者介護予防サービス費、4目特例特定入所者介護予防サービス費は、いずれも利用がございません。

3款地域支援事業費1項1目介護予防・生活支援サービス事業費517万3,108円は、こちら、訪問型サービスAの委託料が12節に計上されています。延べ利用者257人で、18節負担金補助及び交付金は、第1号事業給付費の国保連への負担金となります。

2目介護予防ケアマネジメント事業費12万4,260円、こちらは、総合事業の介護予防ケアマネジメント事業と国保連の負担金となります。

2項1目一般介護予防事業費67万1,234円は、ふまねっと運動やリハビリテーション活動支援の委託金などがございます。

続いて253ページ、3項包括的支援事業・任意事業費1目包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費37万5,080円は、介護予防サービス計画作成業務で、件数でございますが、町の居宅介護支援事業で14件、町外の居宅介護で13件、合計27件の委託です。

2目任意事業費98万9,782円は、こちらはケアプランの点検教務でございます。

3目認知症総合支援事業費88万円は、認知症カフェの事業費です。

4目生活支援体制整備事業費467万5,000円は、生活支援コーディネーター事業です。

5目在宅医療・介護連携事業費3万1,086円。

4項その他の諸費1目審査支払手数料1万502円は、こちら例年同様でございます。

4款1項基金積立金1目介護給付費準備基金積立金405万7,893円。

5款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目第1号被保険者保険料還付金4万7,360円は、過年度還付で11件になります。

2目介護給付費負担金等返還金886万9,490円は、前年度分精算に伴う返還金で、国、道、支払基金、町分があります。

2項繰出金1目他会計繰出金56万3,190円は、保険者機能強化推進交付金41万1,000円などとなります。

6 款 1 項 1 目予備費の支出はございません。

歳出の合計ですが、当初予算額 3 億 1,016 万円、補正額 808 万 1,000 円の減額、予算現計額 3 億 207 万 9,000 円。

資料ナンバー 36 の 1 と 36 の 2 に、実施状況の資料がございますので、後ほど御覧いただきたいと思ひます。

ちょっと訂正させていただきますが、歳入の 8 款の諸収入の説明の際、私のほうで支出がなかったということで説明させていただきましたが、歳入でございますので、収入がなかったの言い間違いでございます。誠に申し訳ございませんでした。

それでは 259 ページ、実質収支に関する調書。単位が 1,000 円であります。

歳入総額 3 億 2,337 万 9,000 円、歳出総額 2 億 9,259 万 8,000 円、差引額と実質収支額は同額の 3,078 万 1,000 円となり、翌年度への繰越金でございます。

以上で、議案第 71 号の説明を終わり、次に、議案第 72 号の説明に移りたいと思ひます。

議案第 72 号は、令和 4 年度陸別町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算でございます。

こちらにも説明資料により説明を行いますので、276 ページを御覧ください。

第 1 表、予算額 4,749 万 3,000 円、歳入決算額 4,770 万 837 円、歳出決算額 4,658 万 7,770 円、差引額 111 万 3,067 円、こちらは翌年度繰越となります。

第 2 表、左側が現年度分、右側が滞納繰越分であり、現年度分調定額 2,999 万 4,500 円、収入済額 2,981 万 5,000 円で、収入済額は前年度より 9 万 9,700 円の減です。収入未済額は 2 件分、17 万 9,500 円。収納率は 99.4%でございます。滞納繰越分は、調定額 23 万 2,227 円、収入済額 2 万 811 円、収入未済額 2 件分、21 万 1,416 円でございます。

第 3 表及び第 4 表は、前年度との比較表でございます。

第 3 表は、歳入の合計額は、調定額 4,809 万 1,753 円、収入済額 4,770 万 837 円で、収入未済額 39 万 916 円で、未済額は 15 万 8,689 円、前年度より増えております。

第 4 表、歳出の合計額は、支出済額で 4,658 万 7,770 円です。不用額 90 万 5,230 円

以上で、説明資料を終わりました、事項別明細書 266 ページをお開きください。

歳入。

1 款 1 項後期高齢者医療保険料 1 目特別徴収保険料、調定額 1,783 万 4,800 円、収入済額 1,784 万 1,700 円、前年度より 8 万 2,350 円の減でございます。こちら、年金特徴後の移動発生がありまして、過誤納で 6,900 円となり、これは令和

5年度で歳出還付するものでございます。2節滞納繰越分、収入済額2万811円、収入未済額2件分、21万1,416円です。

2款広域連合支出金1項1目広域連合交付金146万4,480円は、長寿健康増進事業特別対策事業補助金、あと予防接種等助成などがございます。

3款繰入金1項他会計繰入金1目事業費繰入金197万4,000円は、広域連合への事務費繰入金が182万8,000円、あと町単独分の繰り入れ分が14万6,000円となります。

2目保険基盤安定繰入金は1,254万5,496円ですが、こちら、収入のほうで北海道から4分の3分、町が残りの4分の1を負担することとなります。

4款諸収入1項延滞金及び過料1目延滞金は、科目存置。

2項の償還金及び還付加算金1目保険料還付金11万5,300円は、こちら、歳出還付に係る広域連合からの補填金でございます。

2目還付加算金は、科目存置。

3項1目雑入60万8,750円は、広域連合からの健康診査委託料でございます。

5款1項1目繰越金は、前年度繰越金115万7,000円。

歳入の合計につきましては、当初予算額4,767万4,000円、補正予算額18万1,000円の減、予算現計額4,749万3,000円、調定額4,809万1,753円、収入済額4,770万837円、収入未済額39万916円でございます。

以上で歳入を終わりました、歳出に移りたいと思います。

270ページ、歳出。

1款総務費1項総務管理費1目一般管理費243万3,163円は、一般事務費のほか健康診査やインフルエンザ予防接種など、例年同様の執行でございます。

2款1項1目後期高齢者医療広域連合納付金は4,403万9,307円で、こちら、前年度より10万1,349円の減でございます。

3款諸支出金1項償還金及び還付加算金1目保険料還付金11万5,300円。こちらは、還付金10件分でございます。

2目還付加算金は、支出がございません。

4款1項1目予備費についても支出がございません。

歳出の合計、当初予算額4,767万4,000円、補正額18万1,000円の減、予算現計額4,749万3,000円、支出済額4,658万7,770円、不用額90万5,230円でございます。

議案説明資料ナンバー37に、後期高齢者医療特別会計のフロー図をつけてありますので、後ほど御覧いただきたいと思っております。

274ページ、実質収支に関する調書。こちら1,000円単位でございます。

歳入総額4,770万1,000円、歳出総額4,658万8,000円、差引額と実質収支額は同額の111万3,000円で、こちら、翌年度への繰越金となります。

以上で、議案第66号から議案第72号までの説明を終わります。

以後、御質問によってお答えしてまいりたいと思いますので、御審議のほどよろしくお願ひします。

○議長（久保広幸君） 副町長におかれましては、大変お疲れさまでございました。

令和4年度各会計の決算について、監査委員の意見書が配付されておりますが、代表監査委員が出席されておりますので、意見書の内容に不明な点があれば、この際、質疑を許します。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（久保広幸君） 質疑なしと認め、監査委員に対する質疑を終わります。

令和4年度各会計の決算認定に係る質疑、討論、採決は、本定例会初日の決定のとおり、9月12日に行います。

◎延会の議決

○議長（久保広幸君） お諮りします。

本日の会議は、これで延会し、特別の事情が生じない限り、11日までは休会とします。

御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（久保広幸君） 異議なしと認めます。

◎延会宣告

○議長（久保広幸君） 本日は、これで延会します。

延会 午後 1時50分

以上、地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

議長

議員

議員

